

## ピュア(素直)な心をアートする 活躍の場を広げるワークスペース栞<アトリエ彩>のアーティスト



(撮影: 2019年10月)

### 山崎 智明(やまざきともあき)さん

彼のモティーフは「乗り物」。自動車や自転車、時には謎の乗り物などを繰り返し並べ愛くるしく描くイラストは、パステル基調の色彩と相まってとても温か。

現在、障害のある人のアートを、デザインを通して社会に発信する組織(同社HPより)「エイブルアート・カンパニー」に登録し、同社を通してトヨタ交通安全センターモビリティ[mobilitas]講習車両のボディラッピングに採用されたり、マスキングテープが商品化されたりと、その大人しい性格とは裏腹に活躍ぶりはとてもエネルギッシュです。



① 2019年度三重県障がい者芸術文化祭(12月開催)で亀山市長賞(貼り絵・CG部門)を受賞した「うろこカー」。一般に市販されている丸いシールを、下描きもなしに先頭からウロコのように重ね合わせ、モティーフである車を表しました。なんと、約400枚ものシールが、規則正しく貼られているのですよ!



### 西口 武延(にしぐちたけのぶ)さん

近年、才能が開花した注目のアーティスト。大胆なタッチと鮮やかな色彩感覚は、描き始めると迷うことがありません。この絵は、2019年10月開催の第5回東北障がい者芸術全国公募展に入選した「VOGUEより」。その名の通り、有名なファッション誌「VOGUE」の表紙を模写したアクリル絵ですが、似せるという概念のない、頭に連想された形や色を素直に表した、とても奥深い絵です。

※「亀山トリエンナーレ2020(10月開催)」出展作家に選出されました。



### 的場 乃莉華(まとばのりか)さん

昨年、高校を卒業したばかりのニューフェイスは、いきなり10月開催の第5回東北障がい者芸術全国公募展に入選するなど、これからの活躍が期待される新進のアーティスト。その特徴は、ボールペンや色鉛筆の素早い筆致で曲線を重ね、紙面いっぱいに不思議な模様を広げる、今までにない独特の作風にあります。

② 第5回東北障がい者芸術全国公募展入選作品「Dancing Girls」。よく見ると女の子がたくさん描かれています。それも一人ひとり個性があって、表情や髪形も違います。実は一人だけ、おそ松くんが混ざっているとか。そんな、お茶目なところも見どころの一つです。

さて、ピカソが晩年になって「ようやく子どものような絵が描けるようになった」と言ったエピソードの通り、ピュア(素直)な心を自然に表現するのは結構難しいもの。だからこそ、感動を生むのでしょうね。



# 名張育成会の活動、ひとつずつ!

各施設の様子をお伝えする「MiRAiレポートブログ」から  
選り抜きの話題をご紹介します。

はてなブログ MiRAiレポート 検索



## 施設入所支援〈成美〉

## ハリネズミ



中をそっと覗いています。とても可愛いですね~~~~♪

昨年に紹介したカメに続き、新しい仲間を紹介します(\*^\_^\*)今年2020年はネズミ年!という事で、ハリネズミちゃんを迎え入れました!(^^)!

男の子が「ぐり」女の子が「ぐら」。二匹合わせて、ぐりぐらちゃんです☆なんだか聞き覚えのある名前ですが…(笑)

実はハリネズミは夜行性で、昼間は寝ていて夜になると活動を始めます。利用者の方も外が暗くなるとカゴの

## レインボークラブ

## 思いをこめた門松づくり



就労訓練を行っている作業者が、感謝の気持ちを形に表したいと始め、昨年末で3年目となった門松づくり。当初は、ネット検索した写真を参考に手探りで作製しましたが、徐々に完成度が上がり、今では完全にプロの技です。

大型の門松は計6個を作製。斜めに切るのが最も苦労したという竹の断面は、とても滑らかで艶やか。最後は、玄関先でバランスをみながら飾り付け。その作業姿と門松の完成度の高さに、通りゆく職員や訪問客皆さんから、感謝の言葉が投げられます。「その言葉だけで十分うれしいです!」また明日からの訓練にも思いがこもります!

## 〈ゆうら〉放課後等デイサービス

## 新年お楽しみ会

こんにちは。放課後等デイサービス ゆうらです(\*^\_^\*)。令和2年、最初の行事として「新年お楽しみ会」をしました!(^^)!

ご自宅でお正月を過ごし、元気に初来所してきた子どもたちと風あげや書初め、おやつにおはぎ作りをしました。

まず、公園で風あげをすることを楽しみに、オリジナルの風を作りました(\*^\_^\*)

美旗の公園に出かけました!!お天気にも恵まれ、風も応援してくれたおかげで風もよく飛びました\(^o^)/全力で走り、風を受けて空にあがった風を見て「ほら!見て、見て」と嬉しそうにする子ども。

寒くても元気いっぱい走っている子どもたちを見ているとポカポカした気持ちになりました(#^\_^#)



(表面より)



葉で生まれる作品から、「言葉」や「概念」を超えた、生きることの躍動が心に伝わってきてとても感動します。内面から沸き起こるものを素直に表現できるというのは大きな才能であり、そこから生まれたアートは観る人なりの、自由なカタチで気持ちに入っていきます。今後、どのようなアーティストが生まれ、どれだけの感動が生まれるのか楽しみです。

取材:田口知恵子(コミュニティFMを通じて、地元情報を日々伝えるナビゲーター。名張市在住。)

## 葉のアーティストたち展 in 津

日時:2月22日(土)~24日(月) 11:00~17:00

場所:VOLVOX 津市栄町1-888四天王会館1F

- ・JR・近鉄津駅より徒歩10分
- ・伊勢自動車道津ICより車10分
- ※県庁舎を目印に、できるだけ公共交通機関でお越しください。



www.volvox-stnk.net

ワークプレイス葉は「障がい者」と言われる人たちが集う自由な表現の場。彼らのこころのつぶやきはあざやかな色彩や魅力的なフォルムとなって、紙の上に飛び出していきます。ぜひ、ご高覧ください。

※会期中作家在廊



虹の会では随時会員募集しています。

支援を通じた仲間作り。一緒に活動しませんか! 名張育成会後援会・虹の会 0595-65-0271